



「聖なる者となりなさい。
私が聖なる者だからである。」
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail jhc-honbu@jhc.or.jp

2020年10月30日

全国の牧師先生方、役員の皆様へ

日本ホーリネス教団
委員長 島津 吉成
総務局長 佐藤 信人

【第15報】新型コロナウイルス感染症への対応に関して

主の聖なる御名をたたえます。

新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、教会内における感染対策が進んだ一方で、教会が置かれた地域の感染状況が日ごとに変化するために、礼拝の休止や再開などの判断をどのようにすべきかについて苦慮しておられる教会もあることと思います。

今週27日～28日に行われた教区長会議におきまして、感染状況を見極める「ステージ」の理解について、教団からのお知らせが不十分であるとのこと指摘がありましたので、改めてお知らせいたします。

前回の【第14報】(9/4付)の「1. 各地域における感染状況を見極めるための指標について」におきまして、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会が8月7日に発表した「4つのステージと6指標」を紹介しました。それによりますと、

ステージ1 (感染者の散発的発生) ステージ2 (感染者の漸増)
ステージ3 (感染者の急増) ステージ4 (爆発的な感染拡大)

<参照> <https://hazard.yahoo.co.jp/article/20200813>

となっています。この新しい指標の大きなポイントは、ステージの枠組みそのものが3つのステージ(非流行期、移行期、流行期)から4つのステージ(上記)へと変更されたことと、「感染者の急増」段階とみなすステージ3の「直近1週間の人口10万人あたりの感染者数」を以前の2.5人から15人に大幅に引き上げられたことにあります。

これは感染状況の判断の指標となる数値を大幅に緩和したことになりますが、教団としましてはこれを受け止め、【第13報】(7/30付)の参考資料として添付しました「ステージ分類(3つのステージ)」を基にした対応から、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会が発表した「4つのステージと6指標」を基にした対応へと移行してもよいと考えています。ただし、



「聖なる者となりなさい。
私が聖なる者だからである。」
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail jhc-honbu@jhc.or.jp

その指標の変更を受け入れるか否かの判断につきましては、すでに【第14報】でお伝えしておりますように、各教会におきまして総合的に判断していただきたいと思えます。なお、具体的な対応について判断に迷い、相談を必要とする場合は、総務局長・佐藤信人(022-234-5385、sendainankou@ybb.ne.jp)までどうぞお問い合わせください。

まもなく11月に入り、秋から冬へと向かう中で、感染状況が悪化することも予想されます。数ヶ月にわたる対応で疲れを覚えている牧師を始めとする諸教会の上に、主の限りない憐れみと助けがあることを切にお祈りいたします。また、懸命な対応が続く医療従事者をはじめとする多くの方々の働きが支えられますように。

皆さまの教会の上に、主の守りと祝福が豊かにありますようお祈りいたします。

「神はそこにおられ、都が揺らぐことはない。夜明けとともに、神は助けをお与えになる。」
(詩編 46 編 6 節)

主にありて